

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 6 - 11
要綱上の事業名称	(43)復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	田老地区区画整理地内駐車場整備事業
全体事業費	99,773千円
<p>【事業概要】</p> <p>東日本大震災により壊滅的な被害を受けた田老地区においては、市復興計画により、「被災前のコミュニティに配慮しながら、住居の高台等への移転などによる安全で安心して暮らすことのできる住宅地の整備の推進」、「つくり育てる漁業の再生に向け、漁業者への支援と漁業施設や水産加工施設の再配置、三陸縦貫自動車道及びインターチェンジの整備を契機とした交流人口の増加による観光需要の拡大を図るなど、豊かな自然や水産資源を活かした産業の復興の推進」、「倒壊した防潮堤の復旧を含め、効果的な防災施設のあり方について検討するなど、海岸保全施設の整備を促進し、津波災害の歴史や教訓を広く国内外に伝えるための施設整備や防災教育の充実などハード・ソフト両面からの事業を推進し、地域の魅力を高める取り組みの実施」の3点を復興まちづくりの方向性として、復旧・復興事業に取り組んできた。</p> <p>復興計画に基づき、田老地区市街地においては、浸水が予想されるエリアでの地盤の面的嵩上げ、公共施設の整備により、津波をはじめとした災害に対して安全な市街地を形成することを目的とした区画整理事業を導入し、復興まちづくりを進めている。</p> <p>区画整理区域内は、かさ上げ整備された国道45号により、国道の内陸側は、浸水しない区域として、住居、店舗などが整備されつつあり、最大クラスの津波において浸水の可能性がある国道の海側においては、産業系用地や公共施設の整備によりまちづくりを進めてきた。</p> <p>田老地区では、震災前、産業振興などの目的で、漁港周辺の用地を利用して様々なイベントが開催されており、年間およそ36,000人の来訪者があった。</p> <p>現在、漁港周辺用地は、復興事業の防潮堤整備等により、イベントでの活用が難しくなっており、区画整理地内の産業系用地を活用したイベント開催に移行している。</p> <p>イベントへの来訪者は、復興事業完了後の平成33年度には震災前と同程度に回復すると見込んでおり、今後、イベントへの来訪者の駐車場が不足することが想定されることから、区画整理地内へ震災後減少した駐車場を整備し、イベント来訪者の確保を図ろうとするものである。</p> <p>【基幹事業との関連性】</p> <p>市復興計画により、基幹事業では、豊かな自然や水産資源を活かした産業の復興を目的とした区画整理事業が実施され、土地利用に関しては、商業・産業系用地を地域の魅力を高める賑わい創出の場所として活用することを計画している。</p> <p>区画整理事業地内では、被災事業者の再建も進められており、当地区で開催されるイベントは、年間およそ36,000人の来訪者が期待され、地区内の産業振興にも大きな影響がある。</p> <p>今後期待されるイベント来訪者を確保するため、駐車場を整備することで、区画整理事業で整備した商業・産業系用地の利用者の利便が図られ、交流人口の拡大や産業振興に資することから、基幹事業の目的を促進するものである。</p>	

■整備概要（駐車場）

整備面積 8,200㎡

主な工種 擁壁工、道路土工、舗装工、排水構造物工、防護柵工、区画線工 外灯設置

■事業費 99,772,240円

・設計業務委託料

測量業務 1,360,000円

設計業務 3,090,000円

計 4,450,000円

消費税 356,000円

設計業務委託料合計 4,806,000円

・工事費

直接工事費 47,242,905円

共通仮設費 7,894,000円

現場管理費 18,156,000円

一般管理費 10,935,095円

計 84,228,000円

消費税 6,738,240円

工事費合計 90,966,240円

・外灯設置

LEDソーラー外灯×4基

4,000,000円

■事業スケジュール

設計業務 平成30年 6月～平成30年 8月（3ヶ月）・・・予算措置 平成30年6月

工 事 平成30年11月～平成31年 1月（3ヶ月）・・・予算措置 平成30年9月

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。